



シンフォニーSP

〔取扱説明書〕〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、
充分ご理解の上、ご利用ください。

自立歩行に不安のある方は、同伴者の付き添いの上でご利用ください。
ご使用に際しては、ケアマネージャーまたは福祉用具専門相談員に
ご自身の体調や状態をお知らせのうえ、ご相談ください。

目次

ご使用前の注意（点検）.....1	傘立ての使い方5
警告事項1	こんな時には5
各部の名称2	ご注意事項6
車体のひろげ方.....3	環境6
車体の折りたたみ方.....3	使用中6
押手の高さ調節.....3	使用后6
手元ブレーキの操作方法4	保管・お手入れ方法6
ストッパーの操作方法4	保全6
ブレーキの調整4	廃棄6
キャスターの操作方法4	保証書7
腰掛け方5	

この説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、
弊社サービス係、またはご購入店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所 サービス係 ☎06-6793-0991

ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身の体調の状態でご使用できるかご判断ください。

ご購入後に自立歩行が容易にできなくなったりした場合、ご利用を中止されたり、
同伴者の付き添いのもとにご使用ください。

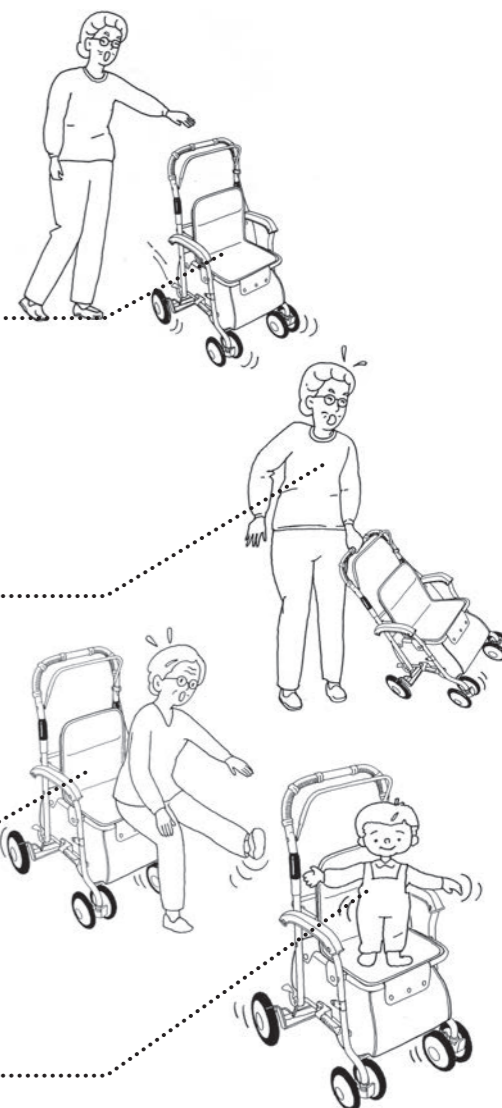
転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ご使用前の注意（点検）

- 広げる時などの開閉操作を行う際には、幼児を近づけないでください。
- 組立調整は確実に行ってください。
- 製品各部を点検し、特に手元ブレーキ、ストッパー及び左右両輪の性能についてはご自身で充分確認してください。
- タイヤ及びブレーキの摩耗等がないかを保守・点検し、必要に応じて調整又は交換してください。
- 各部のカシメ鉚、ネジ、ナットがゆるんでいないか確認してください。
- 左右の開閉用ロックが確実にかかっているか確認してください。
- 押手の高さ調節部（左右）が固定されているか確認してください。
- 最大使用者体重は100kgです。体重が100kgをこえられる方は、ご使用になれません。

⚠警告事項（思わぬケガの恐れがあります）

- 雨、雪、凍結等すべりやすい所では使用しないでください。
- 階段や溝、段差のある所、エスカレーター等では使用しないでください。
- 交通の頻繁な所、混雑している所及び夜間の使用は充分注意してください。
- 坂道、道路などの段差のあるところでは充分に注意してください。
- 線路を横断される場合、段差に充分注意して下さい。特に警報機が鳴った時に慌てて転倒したり、車輪が溝にはまったりして大変危険な場合がありますので、付き添いをつけて横断されることをおすすめます。
- 押手に寄りかかったり、過度の荷重をかけた場合、車体のみ前に動くことがあります。
- 車輪を持ち上げた状態で使用しないでください。
- 座面を使用する場合は、必ずストッパーを左右両輪に掛け、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外の所には座らないでください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してゆっくりとおこなってください。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- 幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。



各部の名称

シンフォニーSP

使用時サイズ：H78.5~88×W50×D56cm
 収納時サイズ：H86.5×W50×D28.5cm
 座面高さ：41cm
 バッグ耐荷重：5kg
 重量：約5.9kg



車体のひろげ方

- 1 折りたたみレバーを図の様に矢印の方向に倒してください。
- 2 (座わる場合) 座面パイプが座面受けパイプに載っているのを確認してください。
※ブレーキワイヤーが引っかかり広がらない場合がありますので注意してください。
- 3 (押す場合) 矢印の向きに座面のみを起してください。

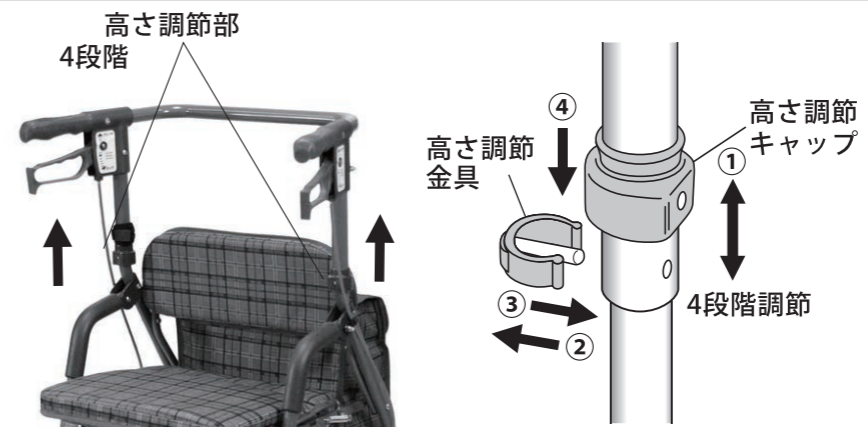


車体の折りたたみ方

- 1 折りたたむ時は座面を起し歩行使用時の状態にします。
- 2 座面下にある、折りたたみレバーを上向きに引き上げてください。
- 3 ブレーキワイヤーが引っかからないようにご注意ください。特にブレーキワイヤーが折れ曲るとブレーキのききがわるくなります。



押手の高さ調節



1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
 2. 高さ調節金具を抜いてください。
 3. 4段階から、お好みの高さに合わせて、左右の高さ調節金具をしっかりはめこんでください。
 4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。
- 注 左右同じ高さであることを確認して固定してください。

手元ブレーキの操作方法



分離ブレーキ

- 手元ブレーキは、片側ブレーキで両後輪を制御できる仕組みですが、手元ブレーキを使用する時は左右の手元ブレーキを同時にかけてください。
(上記、両輪制御は、あくまでも補助的な機能です。)

手元ブレーキレバーをにぎれば、両後輪にブレーキがかかります。

- 注**
- 押手と手元ブレーキの間に指を入れたまま操作しないでください。
 - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようには効かないので過信しないでください。

ストッパーの操作方法



- 1.ストッパーを下に下げると、後輪がロックされます。

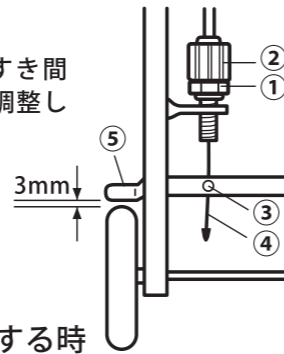


- 2.ストッパーを上にあげるとロックが解除されます。

- 注**
- ストッパーのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車からはなれる場合は、必ずストッパーを掛けてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けないでください。
 - ストッパーのロックを解除する時はストッパーの中に手を入れてストッパーを解除しないでください。手の中に入れた場合、ストッパーのはね返りで指や手をぶつけますので充分注意してください。

ブレーキの調整

ブレーキ金具と車輪のすき間が3mm位になるように調整します。



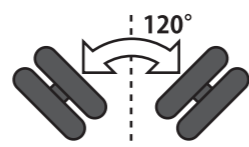
- ブレーキをきつくする時
- ②を回して調整し、①を上図の位置に戻してください。
- なお不十分な時は、②を最初の状態に戻し、③をゆるめてから⑤を車輪に近づけた状態でワイヤー④を引っ張って、④を締めてください。

- ブレーキをゆるくする時
- ②を回して調整してください。

キャスターの操作方法

曲る方向に力を入れれば約60°の角度で止まり、力を抜けば直進方向に戻ります。キャスター回転止めをあげるとロックされます。

- 注**
- キャスター回転止めが左右同じ状態かを確認してください。



腰掛け方



- 注**
- 両側の開閉ロックが正常にかかっているか確認してお座りください。
 - 必ずストッパーを掛けてからお座りください。
 - 腰掛ける時は、均等に体重が加わる様に座面の中央にお座りください。
 - 浅く座ったり、背もたれに力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがあります。ご注意ください。
 - 坂道など斜面では座らないでください。
 - 最大使用者体重は100kgです。体重が100kgをこえられる方はご使用になれません。

傘立ての使い方

- 1.長い傘やツエは傘止めバンドに差し込み、傘止めブラケットで受けてください。



こんな時には・・・

状況	原因	対処方法
押手がグラグラと動く	①開閉用ロックが確実に掛かっていない ②押手の高さ調節部がきちんと固定されていない	①両側の開閉用ロックが確実に掛かっているか確認してください ②押手高さ調節部分の固定金具が、穴にきちんとセットされているか、確認してください
ストッパーが効かない	①ブレーキ金具のねじれ、曲がり ②バネの劣化 ③車輪の破損 ④連結部のサビ	①ねじれ、曲がりを修正してください ②バネの交換 ③車輪の交換（サービス係へ） ④注油する (注)使用中、少し前後に動きます
手元ブレーキが効かない	①タイヤの摩耗 ②ワイヤー止め位置のズレ ③ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①車輪の交換（サービス係へ） ②ブレーキのワイヤー調節を行ってください ③ブレーキワイヤーの交換（サービス係へ）
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター（前輪）を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに油を差してください ②バネの交換（サービス係へ）
その他、車輪の交換や車体の破損など		当社サービス係にて製品の修理または部品の交換を行います

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのまま使用せずに、当社の点検・修理を受けてください。

⚠️ ご注意事項

〈環 境〉

- 雨風の強い時、また傘を持ちながらの片手では使用しないでください。
- 火の近くでの放置はしないでください。樹脂が変形し、性能を維持できなくなります。
- 自動車、バス、電車の中では使用しないでください。
- 砂、泥のある場所、特に水たまりでは使用しないでください。また、放置しないでください。

〈使用前〉

- ご使用に際しては、ケアマネージャーまたは福祉用具専門相談員にご自身の体調や状態をお知らせのうえ、ご相談ください。
- ご使用に際して、体調の状態によっては、危険な場合もありますので、ご自身の体調の状態でご使用できるかご判断ください。
- 自立歩行に不安のある方は、同伴者の付き添いの上でご使用ください。

〈使用中〉

- 用途以外には使用しないでください。
- 開閉などの操作時には、幼児や子供を近づけないでください。
- 5以上の重さの荷物を袋部に入れしないでください。
- 最大使用者体重100です。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- 座面以外の所には座らないでください。
- 押手と手元ブレーキの間に指を入れたままブレーキ操作をしないでください。
- ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。
- 傘を持ちながら等、片手での使用はしないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 座面を踏み台として使用しないでください。
- ストッパーがかかった状態で押さないでください。
- 袋以外の所に荷物を載せたり、吊るしたりしないでください。
- 車体からはなれる時は、必ずストッパーをおかけください。
- 前輪を持ち上げた状態では使用しないでください。
- 袋に物を入れたまま折りたたまないでください。
- 車体を閉じる時は、手をはさまないように注意してください。
- 座面を使用する場合は、必ずサイドストッパーを左右両輪にかけてご使用ください。
- 袋部に乳幼児や動物を入れて使用しないでください。

〈使用後〉

- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因となります。
- 雨水にぬれた場合は、拭きとってください。
- フレームに砂や泥をつけたまま放置しないでください。

〈保管・お手入れ方法〉

- 車輪についた泥や汚れなどは、そのまま放置しないで、必ず落としてください。
- よく絞った布で、土やほこりをふき取ってください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないでください。
- 乾いた布で水分を取り、日陰で乾燥してください。
- 袋部の汚れは、柔らかい布でふいてください。
- 車輪や車体がきしむ場合、連結部等に数滴注油してください。
(注油後、開閉操作を2・3回くりかえしてください)
- 長時間使用しない時は、汚れを落とし、日陰で保管してください。
- 寒い時、暑い時戸外に置かないでください。袋部が変色したり、硬化して開閉できなくなることがあります。
- 説明書は本体とともに保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

〈保 全〉

- 非常口、消火器、消火栓の前に放置しないでください。
- 各部の破損、ゆるみ、摩耗がないか確認してください。
- 幼児や子供の手の届く所には放置しないでください。
- 当社のサービス員以外の分解、組立、改造はしないでください。

〈廃 棄〉

- 廃棄については各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。



外袋



説明書